

大阪回生リハビリテーション研究会 特別講習会風景

大阪回生リハビリテーション研究会 特別講習会

「感覚と運動の生理学」③

—生理学入門—

講師：曾我部 正博 先生(名古屋大学 大学院医学研究科 細胞科学大講座 主任教授)

日時：2009年11月28日(土)

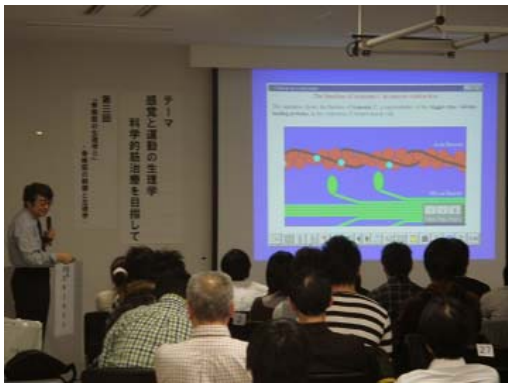
会場：大阪回生病院リハビリテーションセンター

大阪回生リハビリテーション研究会 Osaka Kaisei Rehabilitation Society

URL : <http://www.kaisei-hp.co.jp/center/rihabiri.html>

第3回感覚と運動シリーズを引き続き、曾我部正博先生に御講義いただきました。筋収縮の形態や特性の生理学を筋治療の臨床的観点も踏まえて、わかりやすく御指導いただきました。普段、何気なく触っている筋肉が手の中でどういう反応が起こっているのが理解できました。これらを明日からの臨床につなげていきたいです。曾我部先生、本当に有難うございました。

<講義風景>



大阪回生リハビリテーション研究会 特別 講習会

「感覚と運動の生理学 科学的筋治療を目指して

第3回

「骨格筋の制御と生理学」

① 講習会内容について感じられたことを御記入ください。

➤ 一番興味をもてたこと

- ATP クライシスと硬直の形成
- ATP, エネルギーの産生と筋収縮の関連
- サイズの原理, 仕事率, 連結橋サイクルと ATP クライシス
- 拘縮, 硬直などの生理学. アクチンとミオシンの働き

➤ 疑問に思ったこと

- サイズの原理
- Nによる障害、効果器そのものによる傷害の見分け
- 筋肥大、過形成を臨床でどのように行えばいいか

➤ 難しく感じたところ

- 筋肉の力学特性
- 運動単位の動的様式
- ミクロなイオンなどの働き
- 終盤からどのように筋までインパルスが伝達されるか

➤ 感想

- 今日の内容をもう一度復習しようと思います。
- 筋収縮のしくみを深く知ることが出来た。
- 分かりやすいご説明を頂いたので、興味をもって聞かせて頂きました。
- 難しく勉強の重要性を再確認させられました。
- 興味をもち聞けました。